

平成30年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）  
島根県（公立）の結果概要

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

(1) 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(2) 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査実施日 平成30年4月17日（火）

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数・数学A、理科〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数・数学B、理科〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>実生活において不可欠であり常に活用できているようになっていくことが望ましい知識・技能等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容</li> <li>様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容等</li> </ul>

(2) 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 県内公立学校で調査を実施した学校数・児童生徒数

小学校調査	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施児童数
公立学校合計	204	187 (91.7%)	5,422人

※実施校の内訳 市町村立小学校184校、義務教育学校前期課程1校及び  
県立特別支援学校小学部2校

※未実施校 特別支援学校小学部1校

※大田市内全小学校(16校)は、後日実施のため実施学校数及び実施児童数には含まない

中学校調査	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施生徒数
公立学校合計	101	95 (94.1%)	5,134人

※実施校の内訳 市町村立中学校89校、義務教育学校後期課程1校及び  
県立特別支援学校中学部5校

※大田市内全中学校(6校)は、後日実施のため実施学校数及び実施生徒数には含まない

## II 公表について

### 1 公表の内容

- (1) 島根県及び全国の教科に関する調査の結果
- (2) 島根県及び全国の質問紙調査の回答状況
  - ・児童生徒質問紙の回答状況
  - ・学校質問紙の回答状況

### 2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること

### 3 その他

島根県教育庁教育指導課のホームページに公表資料を掲載

## III 教科に関する調査の結果

### 1 結果の概要（島根県と全国の平均正答率との比較）

- 小学校国語B、中学校国語A・国語B、中学校数学B、中学校理科においては、全国平均並みである。
- 小学校国語A、小学校算数A・算数B、小学校理科、中学校数学Aにおいては、全国平均を下回っている。
- 小学校国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で全国平均を下回ったが、国語Bでは、すべての領域で全国平均並みであった。
- 小学校算数A・算数Bでは、ほとんどの領域で全国平均を下回った。
- 小学校理科では、A区分「物質」「エネルギー」で全国平均を下回った。
- 中学校国語A・国語Bでは、すべての領域で全国平均並みであった。
- 中学校数学Aでは、「数と式」「関数」の領域で全国平均を下回った。数学Bでは、「数と式」「資料の活用」の領域で全国平均を下回った。
- 中学校理科では、すべての領域で全国平均並みであった。

### 2 各教科の平均正答率

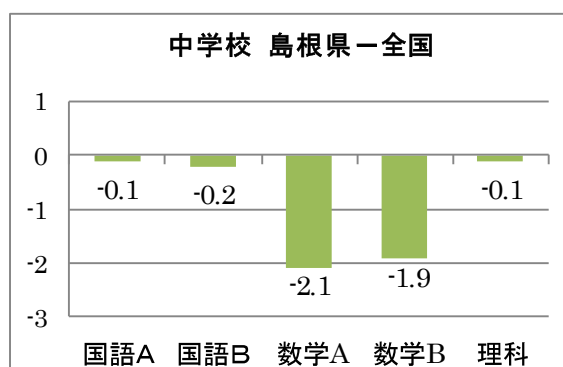
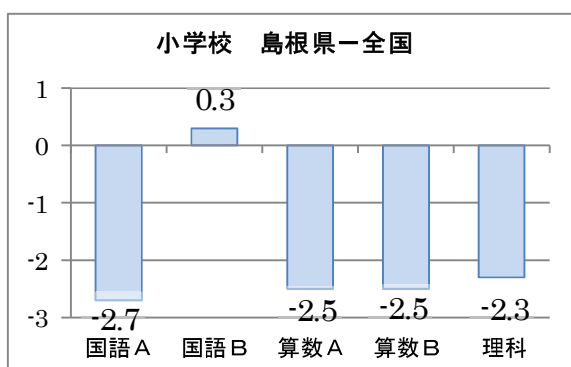
#### 【小学校】

	平均正答率 (%)		
	島根県	全 国	差
国語A	68	70.7	-2.7
国語B	55	54.7	0.3
算数A	61	63.5	-2.5
算数B	49	51.5	-2.5
理 科	58	60.3	-2.3

#### 【中学校】

	平均正答率 (%)		
	島根県	全 国	差
国語A	76	76.1	-0.1
国語B	61	61.2	-0.2
数学A	64	66.1	-2.1
数学B	45	46.9	-1.9
理 科	66	66.1	-0.1

### ■全国の平均正答率との差（島根県－全国）[グラフ表示]



### 3 各教科の正答数分布グラフ及び分類・区分別集計結果

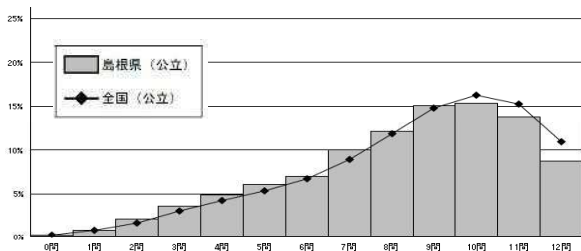
○：県が全国を2ポイント以上、上回るもの  
 —：県と全国の差が2ポイント未満のもの  
 △：県が全国を2ポイント以上、下回るもの

グラフの設問数と分類・区分別集計結果の対象設問数が一致しないのは、1つの設問に複数の学習指導要領の領域が含まれているため

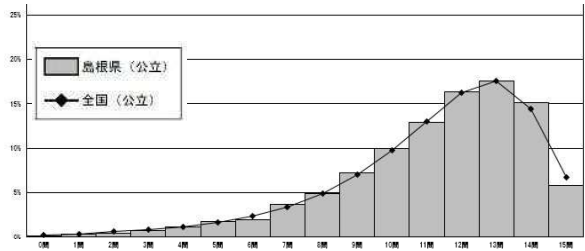
#### 【小学校 国語A】

##### 1 正答数分布グラフ

[平成30年度 国語A]



【参考】[平成29年度 国語A]



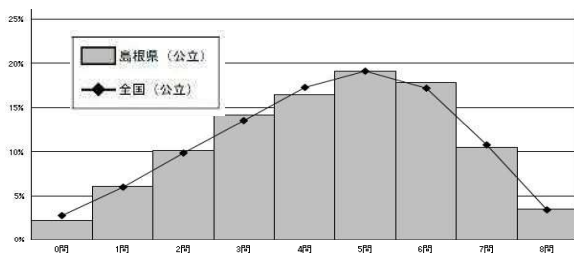
##### 2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	0				
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	1	90.8	90.8	0	—
書くこと	書く能力	1	72.4	73.8	-1.4	—
読むこと	読む能力	2	71.2	74.0	-2.8	△
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語についての知識・理解・技能	8	64.5	67.0	-2.5	△

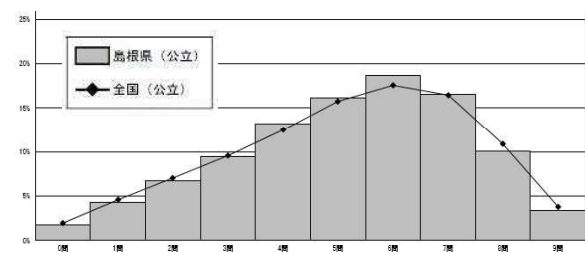
#### 【小学校 国語B】

##### 1 正答数分布グラフ

[平成30年度 国語B]



【参考】[平成29年度 国語B]



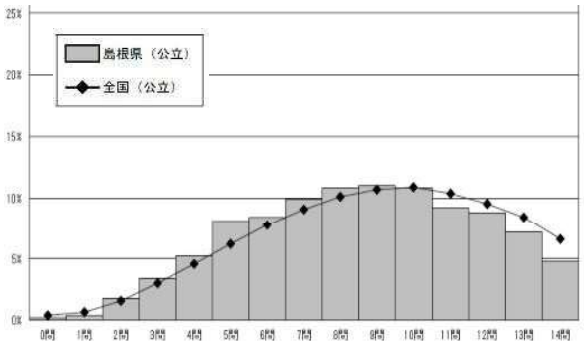
##### 2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	3	34.5	33.2	1.3	—
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	3	65.3	64.6	0.7	—
書くこと	書く能力	5	45.9	45.6	0.3	—
読むこと	読む能力	2	51.7	50.8	0.9	—
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語についての知識・理解・技能	0				

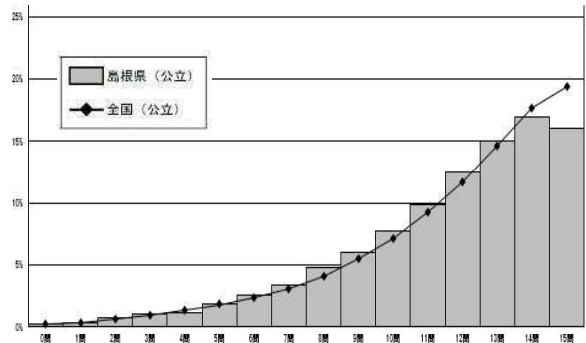
## 【小学校 算数A】

### 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 算数 A]



【参考】 [平成 29 年度 算数 A]



### 2 分類・区別別平均正答率

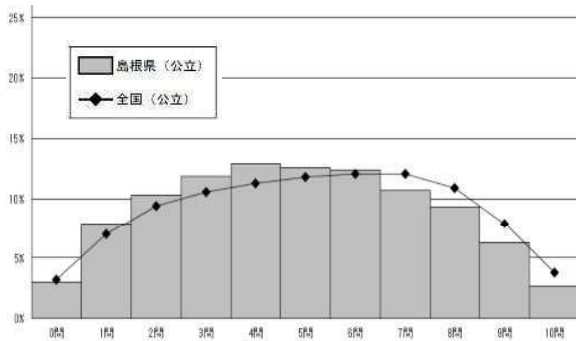
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と計算	5	58.5	62.3	-3.8 △
量と測定	4	73.8	72.7	1.1 -
図形	3	53.7	56.9	-3.2 △
数量関係	5	55.3	60.1	-4.8 △

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
算数への関心・意欲・態度	0			
数学的な考え方	0			
数量や図形についての技能	5	60.5	63.0	-2.5 △
数量や図形についての知識・理解	9	61.4	63.8	-2.4 △

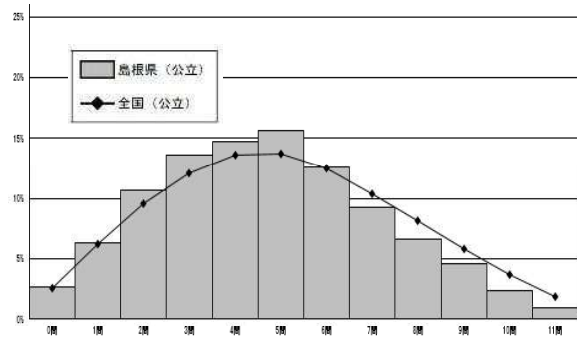
## 【小学校 算数B】

### 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 算数 B]



【参考】 [平成 29 年度 算数 B]



### 2 分類・区別別平均正答率

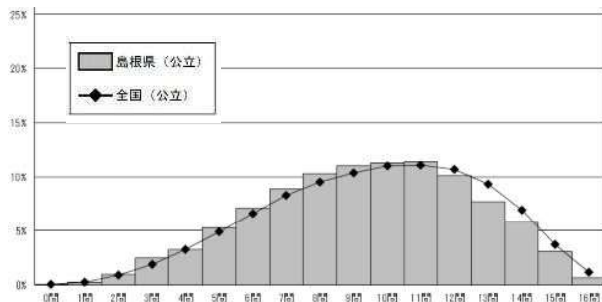
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と計算	6	55.8	58.4	-2.6 △
量と測定	4	48.8	52.4	-3.6 △
図形	2	55.9	59.9	-4.0 △
数量関係	5	42.8	45.1	-2.3 △

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
算数への関心・意欲・態度	0			
数学的な考え方	9	46.5	49.2	-2.7 △
数量や図形についての技能	0			
数量や図形についての知識・理解	1	67.8	71.7	-3.9 △

# 【小学校 理科】

## 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 理科]



## 2 分類・区分別平均正答率

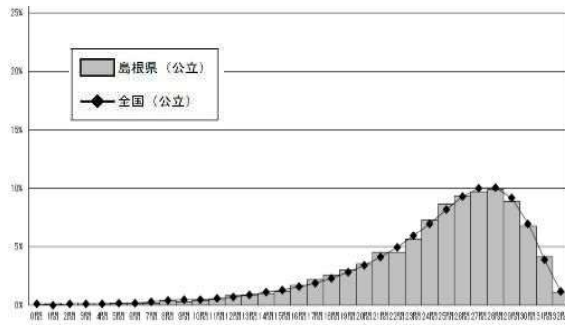
学習指導要領 の区分等		対象 設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
A区分	物質	4	57.0	59.8	-2.8	△
	エネルギー	4	51.0	53.1	-2.1	△
B区分	生命	4	72.9	73.6	-0.7	—
	地球	6	47.6	49.5	-1.9	—

評価の観点	対象 設問数	平均正答率 (%)			
		島根	全国	差	
自然事象への 関心・意欲・態度	1	81.4	82.1	-0.7	—
科学的な 思考・表現	12	51.8	54.1	-2.3	△
観察・実験の技能	1	67.0	71.1	-4.1	△
自然事象について の知識・理解	2	82.7	81.5	1.2	—

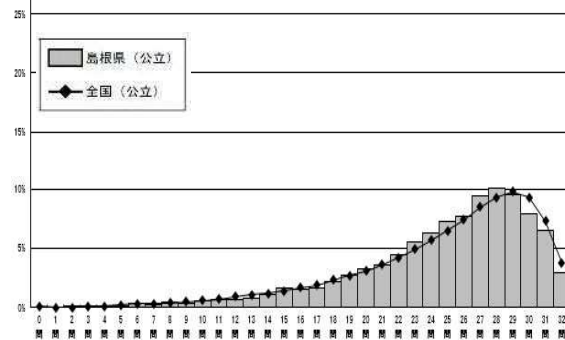
## 【中学校 国語A】

### 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 国語 A]



【参考】 [平成 29 年度 国語 A]



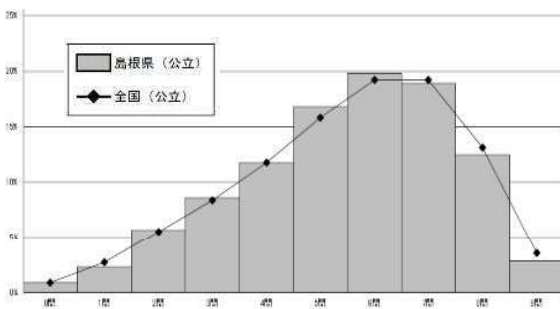
### 2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	0				
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	3	74.1	75.2	-1.1	—
書くこと	書く能力	4	73.2	73.9	-0.7	—
読むこと	読む能力	4	77.4	76.7	0.7	—
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語についての知識・理解・技能	21	76.7	76.5	0.2	—

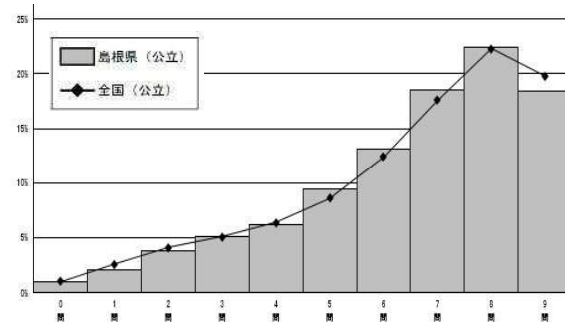
## 【中学校 国語B】

### 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 国語 B]



【参考】 [平成 29 年度 国語 B]



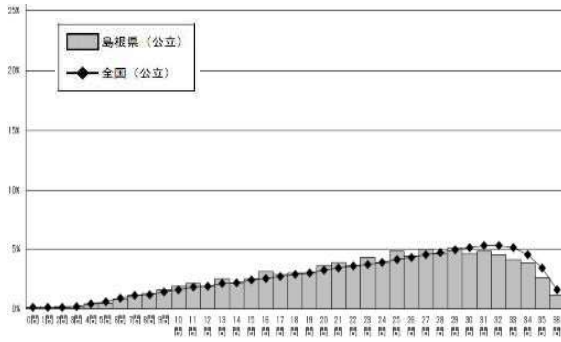
### 2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	3	50.3	50.3	0	—
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	3	76.0	76.6	-0.6	—
書くこと	書く能力	2	31.1	31.3	-0.2	—
読むこと	読む能力	6	53.1	53.5	-0.4	—
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語についての知識・理解・技能	1	50.1	49.2	-0.9	—

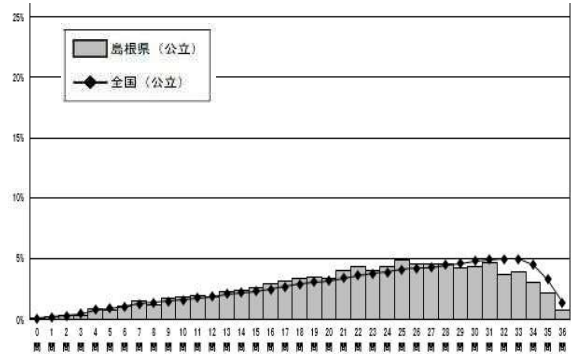
# 【中学校 数学A】

## 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 数学A]



【参考】[平成 29 年度 数学A]



## 2 分類・区分別平均正答率

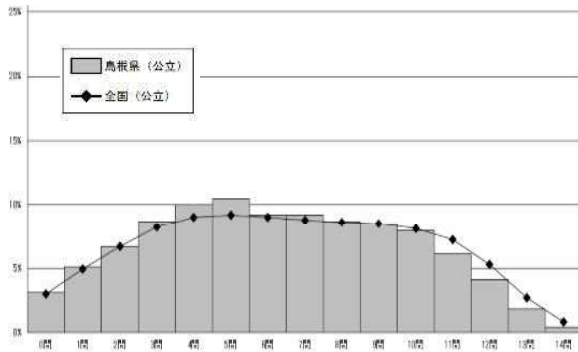
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と式	12	68.7	71.1	-2.4 △
図形	12	67.8	69.1	-1.3 -
関数	8	52.6	55.5	-2.9 △
資料の活用	4	63.9	63.5	0.4 -

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数学への関心・意欲・態度	0			
数学的な見方や考え方	0			
数学的な技能	14	68.7	70.4	-1.7 -
数量や図形などについての知識・理解	22	61.5	63.3	-1.8 -

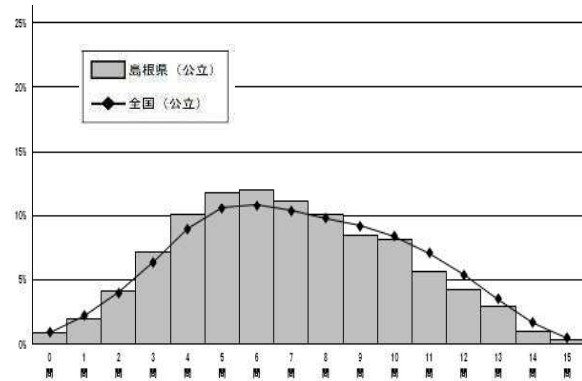
# 【中学校 数学B】

## 1 正答数分布グラフ

[平成 30 年度 数学B]



【参考】[平成 29 年度 数学B]



## 2 分類・区分別平均正答率

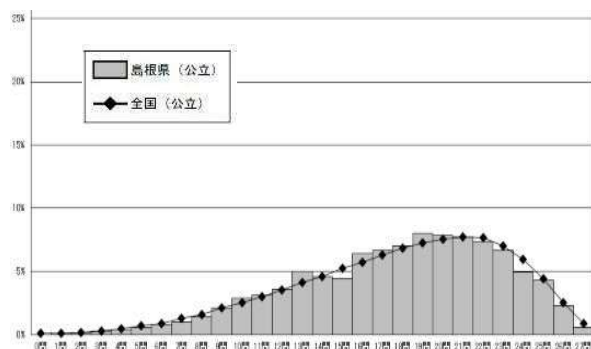
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と式	4	49.1	51.4	-2.3 △
図形	3	45.1	46.7	-1.6 -
関数	3	51.1	52.8	-1.7 -
資料の活用	4	35.8	38.0	-2.2 △

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数学への関心・意欲・態度	0			
数学的な見方や考え方	10	43.0	45.1	-2.1 △
数学的な技能	4	49.5	51.3	-1.8 -
数量や図形などについての知識・理解	0			

# 【中学校 理科】

## 1 正答数分布グラフ

[平成30年度 理科]



## 2 分類・区別別平均正答率

学習指導要領 の分野等		対象 設問数	平均正答率 (%)									
			島根	全国	差							
第1分野	物理的領域	7	74.1	74.4	-0.3	—	自然事象への 関心・意欲・態度	1	71.8	74.0	-2.2	△
	化学的領域	8	63.8	65.0	-1.2	—		科学的な思考・表現	16	64.6	64.9	-0.3
第2分野	生物的領域	6	73.6	72.5	1.1	—	観察・実験の技能	4	65.8	67.0	-1.2	—
	地学的領域	7	56.8	57.8	-1.0	—	自然事象についての 知識・理解	8	68.7	68.7	0	—



#### 4 各教科の正答率の推移及び全国との差

○平均正答率

○：県が全国を2ポイント以上、上回るもの

－：県と全国の差が2ポイント未満のもの

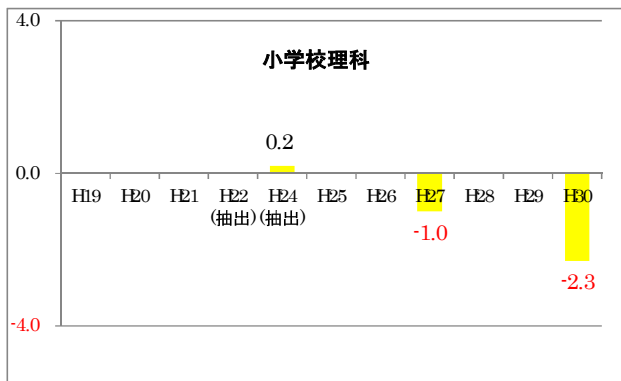
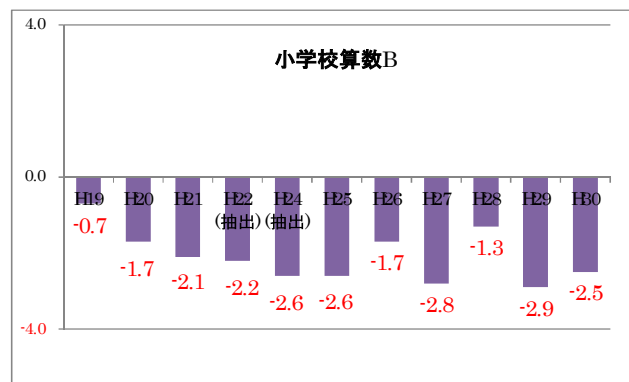
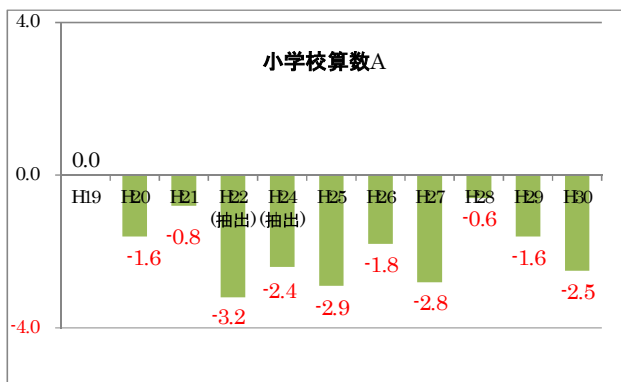
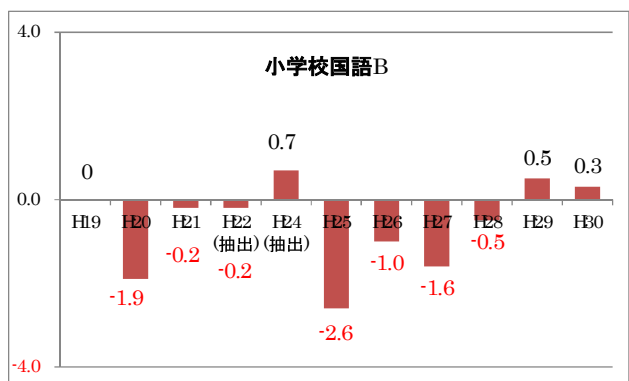
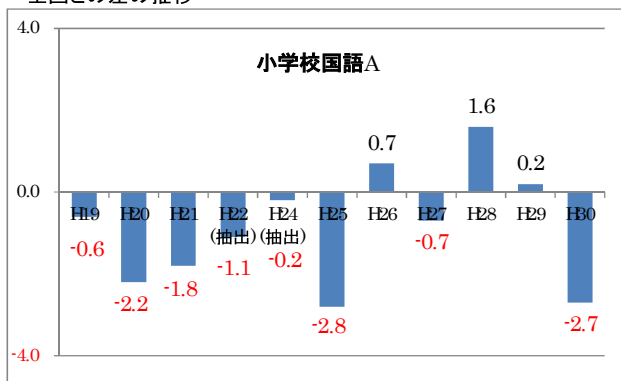
△：県が全国を2ポイント以上、下回るもの

##### 【小学校】

教科等		H19		H20		H21		H22(抽出)		H23		H24(抽出)		H25		H26		H27		H28		H29		H30	
国語	国語A	島根県	81.1		63.2		68.1		82.2			81.4		59.9		73.6		69.3		74.5		75		68	
		全国	81.7	－	65.4	△	69.9	－	83.3	－		81.6	－	62.7	△	72.9	－	70.0	－	72.9	－	74.8	－	70.7	△
		県－全国	-0.6		-2.2		-1.8		-1.1			-0.2		-2.8		0.7		-0.7		1.6		0.2		-2.7	
国語	国語B	島根県	62.0		48.6		50.3		77.6			56.3		46.8		54.5		63.8		57.3		58		55	
		全国	62.0	－	50.5	－	50.5	－	77.8	－		55.6	－	49.4	△	55.5	－	65.4	－	57.8	－	57.5	－	54.7	－
		県－全国	0.0		-1.9		-0.2		-0.2			0.7		-2.6		-1.0		-1.6		-0.5		0.5		0.3	
算数	算数A	島根県	82.1		70.6		77.9		71.0			70.9		74.3		76.3		72.4		77.0		77		61	
		全国	82.1	－	72.2	－	78.7	－	74.2	△		73.3	△	77.2	△	78.1	－	75.2	△	77.6	－	78.6	－	63.5	△
		県－全国	0.0		-1.6		-0.8		-3.2			-2.4		-2.9		-1.8		-2.8		-0.6		-1.6		-2.5	
算数	算数B	島根県	62.9		49.9		52.7		47.1			56.3		55.8		56.5		42.2		45.9		43		49	
		全国	63.6	－	51.6	－	54.8	△	49.3	△		58.9	△	58.4	△	58.2	－	45.0	△	47.2	－	45.9	△	51.5	△
		県－全国	-0.7		-1.7		-2.1		-2.2			-2.6		-2.6		-1.7		-2.8		-1.3		-2.9		-2.5	
理科	理科	島根県										61.1						59.8						58	
		全国										60.9						60.8	－					60.3	△
		県－全国										0.2						-1.0						-2.3	△

※平成22年度、24年度の調査については、調査方法が抽出調査であるため、数値に誤差を含んでいる。

全国との差の推移

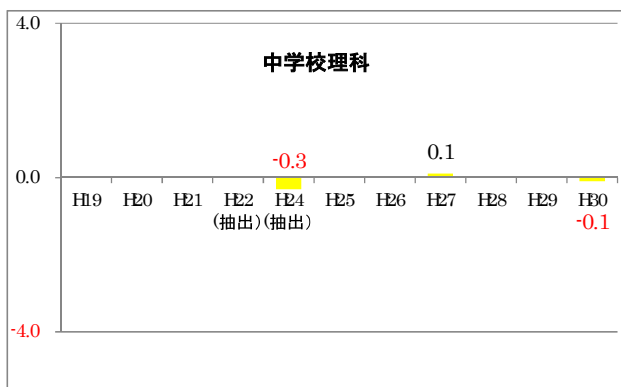
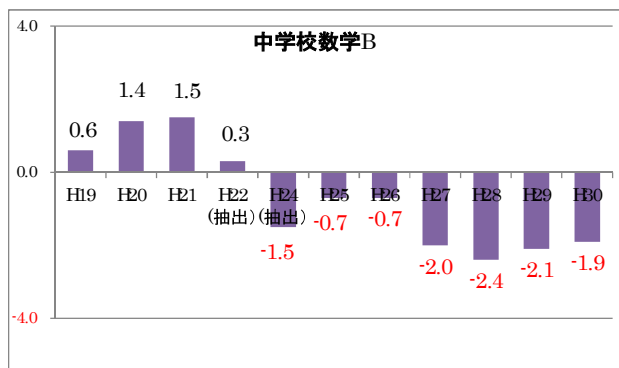
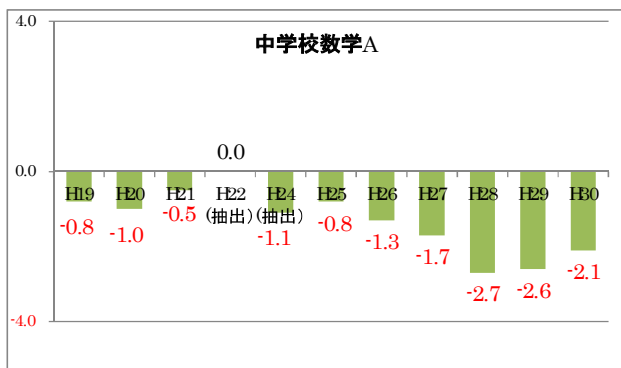
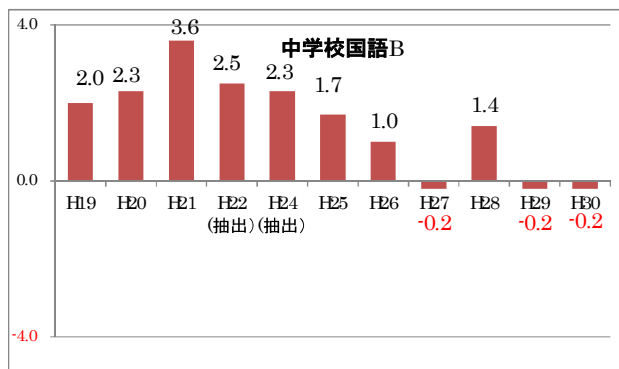
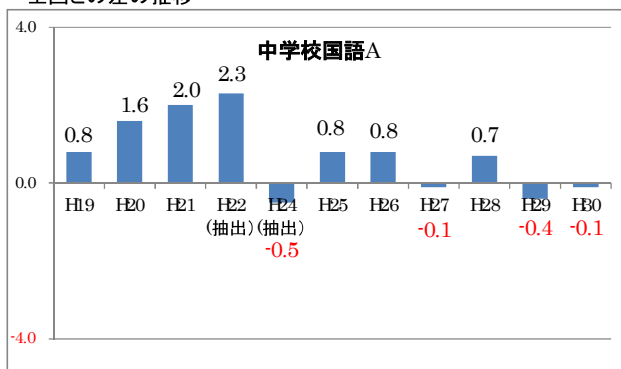


【中学校】

教科等		H19	H20	H21	H22(抽出)	H23	H24(抽出)	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国語	国語A	島根県	82.4	75.2	79.0	77.4	74.6	77.2	80.2	75.7	76.3	77	76
		全国	81.6	73.6	77.0	75.1	75.1	76.4	79.4	75.8	75.6	77.4	76.1
		県一全国	0.8	1.6	2.0	2.3	-0.5	0.8	0.8	-0.1	0.7	-0.4	-0.1
	国語B	島根県	74.0	63.1	78.1	67.8	65.6	69.1	52.0	65.6	67.9	72	61
		全国	72.0	60.8	74.5	65.3	63.3	67.4	51.0	65.8	66.5	72.2	61.2
		県一全国	2.0	2.3	3.6	2.5	2.3	1.7	1.0	-0.2	1.4	-0.2	-0.2
数学	数学A	島根県	71.1	62.1	62.2	64.6	61.0	62.9	66.1	62.7	59.5	62	64
		全国	71.9	63.1	62.7	64.6	62.1	63.7	67.4	64.4	62.2	64.6	66.1
		県一全国	-0.8	-1.0	-0.5	0.0	-1.1	-0.8	-1.3	-1.7	-2.7	-2.6	-2.1
	数学B	島根県	61.2	50.6	58.4	43.6	47.8	40.8	59.1	39.6	41.7	46	45
		全国	60.6	49.2	56.9	43.3	49.3	41.5	59.8	41.6	44.1	48.1	46.9
		県一全国	0.6	1.4	1.5	0.3	-1.5	-0.7	-0.7	-2.0	-2.4	-2.1	-1.9
理科	島根県					50.7				53.1		66	
	全国					51.0				53.0		66.1	
	県一全国					-0.3				0.1		-0.1	

※平成22年度、24年度の調査については、調査方法が抽出調査であるため、数値に誤差を含んでいる。

全国との差の推移



## IV 質問紙調査の回答状況

### 1 概要

- 地域の人材の活用について肯定的回答の数値が高い。教育活動に必要な地域資源（ひと、もの、こと）を効果的に活用して、地域と連携・協働した教育活動を展開している学校が多い。地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒も多い。 2－（1）、3－（1）
- 小学校では、「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」割合が全国と比較して高い。全国学力・学習状況調査を県独自の学力調査と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画への反映を行っている小中学校の割合は、増えてきている。 3－（2）、3－（3）
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」について肯定的な回答した児童生徒の割合が大きく増加した。指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列している学校も増加した。 2－（5）、3－（9）
- △ 小学校算数への関心等を尋ねる項目では、「算数の勉強は好きだ」という児童の割合は伸び悩み、全国平均と比較して依然として低い状況にある。「算数の授業の内容はよく分かる」と回答する割合は少しずつ上昇してきている。 2－（2）、2－（3）
- △ 中学校第3学年の家庭学習には引き続き課題があるが、保護者への働きかけを行った学校は前年と比較して大きく増加した。また、学校の授業時間以外に平日1時間以上勉強する中学校3年生の割合については依然として全国との差は大きいですが、これまでの調査の中では最も高い割合である。 2－（4）、3－（4）

### 2 児童生徒質問紙の回答状況 ○全国を上回った △全国を下回った（前が小学校、後ろが中学校） ※数値は、児童生徒質問紙にあつては「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した割合

#### (1) ○○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

【小学校】県 65.1% 全国 63.8% (+1.3%) 【中学校】県 64.1% 全国 59.3% (+4.8%)  
前年 65.9% (+2.0%) 前年 63.7% (+4.5%)

#### (2) △○算数・数学の勉強は好きだ

【小学校】県 59.2% 全国 64.0% (-4.8%) 【中学校】県 54.0% 全国 53.9% (+0.1%)  
前年 61.2% (-4.7%) 前年 54.6% (-0.8%)

#### (3) △○算数・数学の授業の内容はよく分かる

【小学校】県 80.7% 全国 83.4% (-2.7%) 【中学校】県 71.1% 全国 71.0% (+0.1%)  
前年 79.1% (-1.5%) 前年 69.1% (-0.3%)

#### (4) ○△学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強する

（3時間以上、2時間以上3時間より少ない、1時間以上2時間より少ないと回答した割合の合計）

【小学校】県 68.2% 全国 66.2% (+2.0%) 【中学校】県 60.4% 全国 70.6% (-10.2%)  
前年 66.8% (+2.4%) 前年 59.6% (-10.0%)

#### (5) △○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

【小学校】県 76.5% 全国 77.7% (-1.2%) 【中学校】県 77.9% 全国 76.3% (+1.6%)  
前年 66.9% (-1.3%) 前年 66.6% (+1.8%)

### 3 学校質問紙の回答状況 ○全国を上回った △全国を下回った (前が小学校、後ろが中学校)

学校質問紙にあつては「よく行った(している)」「どちらかといえばよく行った(している)」を合計した割合

#### (1) ○○地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った

【小学校】県 92.5% 全国 83.4% (+9.1%) 【中学校】県 86.3% 全国 70.1% (+16.2%)  
前年 90.1% (+5.9%) 前年 90.9% (+22.0%)

#### (2) ○△平成 29 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した (よく行ったのみ)

【小学校】県 48.1% 全国 42.7% (+5.4%) 【中学校】県 26.3% 全国 34.3% (-8.0%)  
前年 53.5% (+9.1%) 前年 24.2% (-11.2%)

#### (3) ○△全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている (よく行っているのみ)

【小学校】県 40.6% 全国 35.9% (+4.7%) 【中学校】県 29.5% 全国 29.6% (-0.1%)  
前年 34.7% (+0.3%) 前年 29.3% (+1.7%)

#### (4) △△保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った

【小学校】県 95.7% 全国 97.2% (-1.5%) 【中学校】県 87.4% 全国 91.9% (-4.5%)  
前年 96.0% (-1.0%) 前年 68.7% (-18.9%)

#### (5) △△家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた

【小学校】県 81.3% 全国 84.4% (-3.1%) 【中学校】県 57.9% 全国 73.7% (-15.8%)  
前年 78.7% (-4.4%) 前年 52.6% (-17.2%)

#### (6) △△算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った

【小学校】県 45.4% 全国 64.5% (-19.1%) 【中学校】県 54.8% 全国 66.5% (-11.7%)  
前年 53.0% (-13.9%) 前年 57.6% (-13.6%)

#### (7) △△教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関係が分かるように作成した

【小学校】県 87.1% 全国 93.2% (-6.1%) 【中学校】県 83.2% 全国 88.7% (-5.5%)  
前年 78.7% (-7.1%) 前年 59.6% (-17.9%)

#### (8) △△調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

【小学校】県 88.2% 全国 93.0% (-4.8%) 【中学校】県 90.5% 全国 92.6% (-2.1%)  
前年 87.1% (-4.4%) 前年 82.8% (-6.8%)

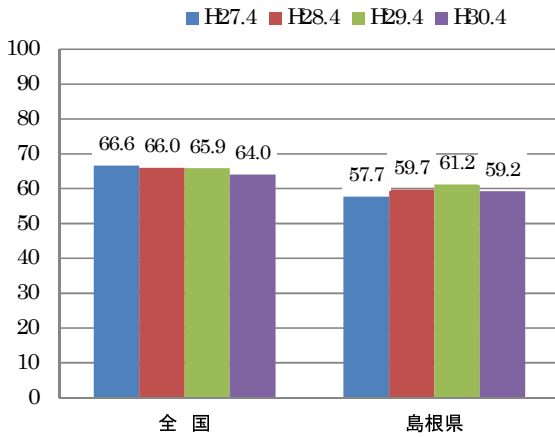
#### (9) △△指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している

【小学校】県 93.1% 全国 94.7% (-1.6%) 【中学校】県 84.2% 全国 90.2% (-6.0%)  
前年 83.2% (-3.5%) 前年 70.7% (-7.6%)

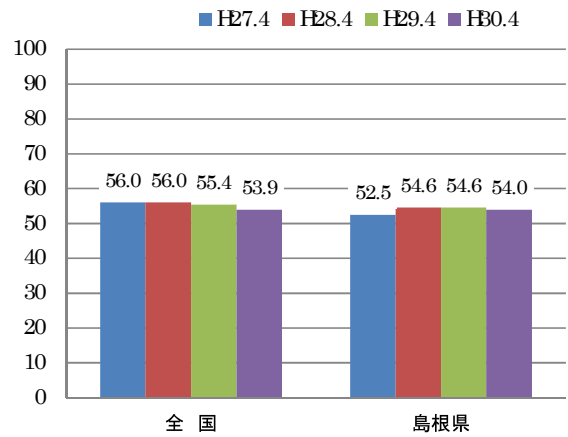
#### 4. 過去に課題の見られた項目の回答状況

※数値は、児童生徒質問紙にあつては「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した割合

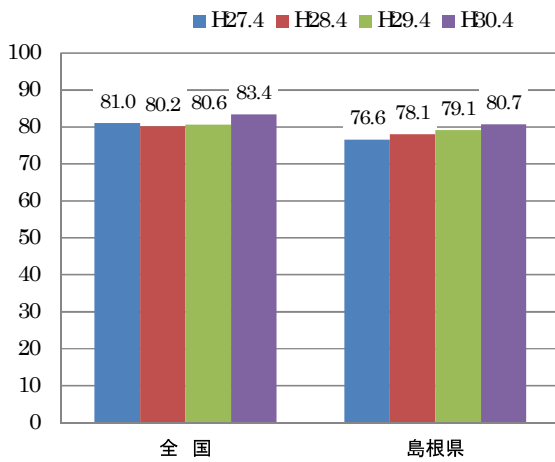
算数の勉強は好きだ(小6)



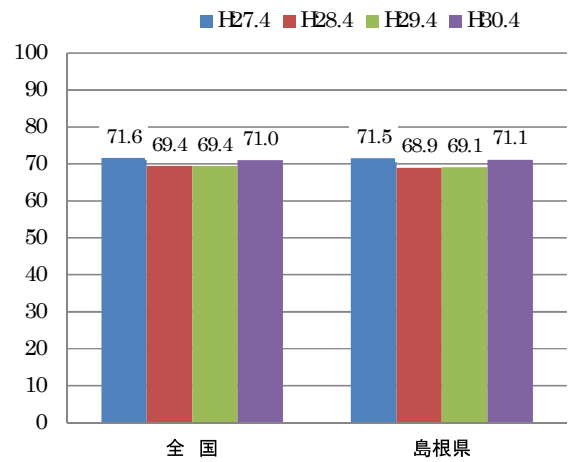
数学の勉強は好きだ(中3)



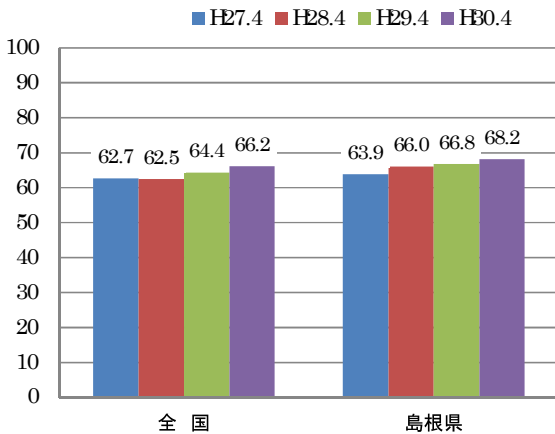
算数の授業の内容はよく分かる(小6)



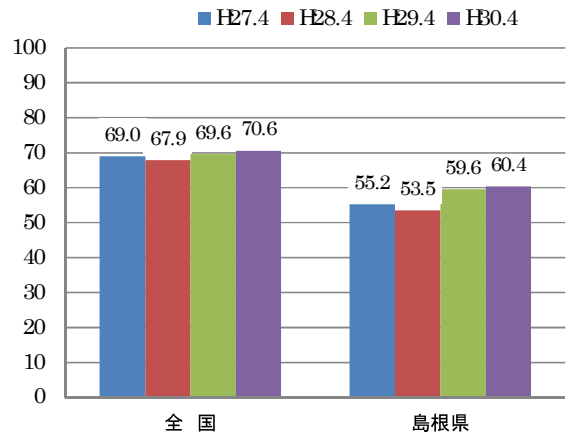
数学の授業の内容はよく分かる(中3)



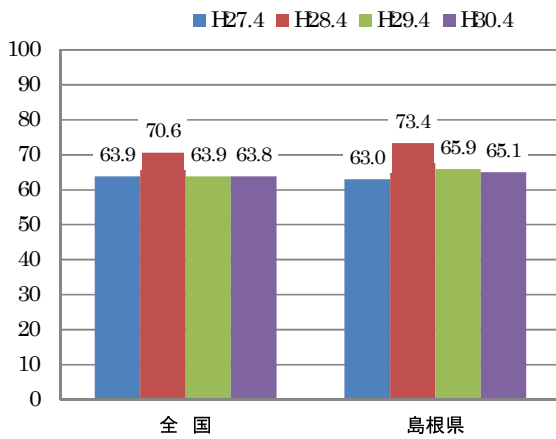
学校の授業時間以外に、平日1時間以上勉強をしている(小6)



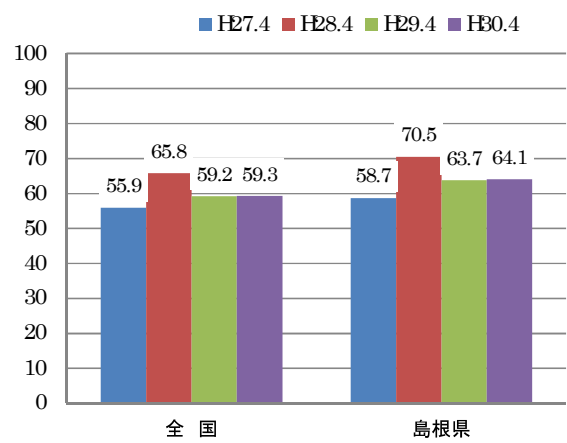
学校の授業時間以外に、平日1時間以上勉強をしている(中3)



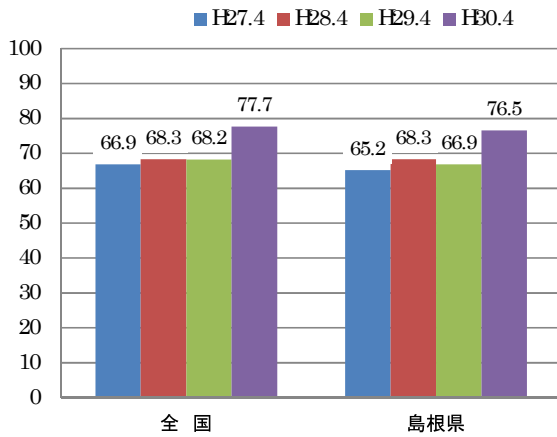
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(小6)



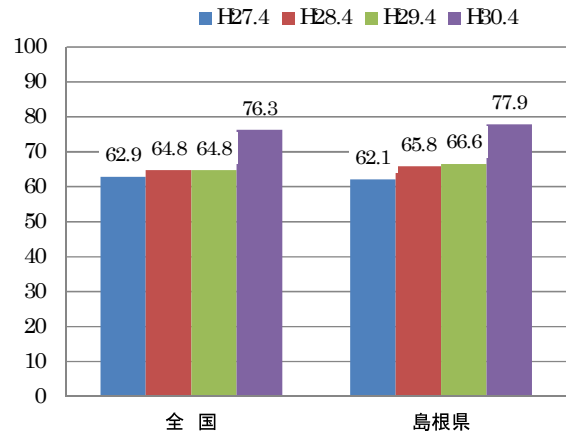
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(中3)



話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる(小6)



話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる(中3)



## V 今後の対応（学力育成推進プランに基づく取組）

**県教育委員会と市町村教育委員会が連携・協力し、学力・学習状況調査結果分析に基づいた指導の改善を推進する。**

### 1. 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善をさらに進める。

「子どもの声でつくる算数授業づくり」に基づく取組を算数授業改善推進校から県内すべての小学校に広げていく。具体的には、昨年度の推進校の授業の様子を収めたDVDを4月初旬に県内すべての小学校に配付しており、校内研修で使われつつある。今年度は推進校それぞれで年間3回の公開授業を予定している。算数授業改善推進校における具体的な実践例を他校に普及することなどにより、新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現による授業改善を進めていく。

また、島根県教育研究会等の任意団体との連携・協力により、公開授業等を実施し、各学校での授業改善を支援する。

### 2. 来年度より小・中・高校において系統的な授業改善を進める事業を展開し、県内すべての校種における授業改善が進むよう働きかける。

新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を実現するため、チーム学校として組織的に取り組めるよう、小・中・高校において系統的な授業改善に関する実践的研究を進める。また、教育事務所等の指導主事による学校訪問指導等を充実させることを通じて、すべての学校で授業改善が進むよう働きかける。